

「変革に向けた会議のファシリテーションを学ぶ」講座

●日時 4月15日(日)

10:00~18:30

●会場 Umiのいえ(神奈川県横浜市西区岡野1-5-3)

●参加費 1万5000円(事前振り込み)

●プログラム

職場やグループをもっとよくしたい、新しい取り組みをしたい方へ贈るファシリテーション講座。

よい会議とは/ファシリテーションの基礎/会議をよくする秘訣/空間・場づくりのポイント、ほか

●講師 青木将幸(ファシリテーター) <http://www.aokiworks.net/>

●申し込み・問い合わせ先

e-mail: umi@umi.lar.jp へ氏名、職業、所属、連絡先、お住まいの地域を明記のうえ、メールにてお申し込みください。お申し込みの方へ参加費、振り込み先、交通案内、持ち物など詳細をご案内いたします。

●主催 いのち・こころ・からだ・くらしの学び合いの場~Umiのいえ
代表: 斉藤麻紀子

TEL: 045-324-8737

<http://umi.lar.jp/>

助産師さんと母子に関わる人のための「心を開くマナー講座」

●日時 4月29日(日)

10:00~16:30

●会場 Umiのいえ

●対象 助産師、看護師、保健師、医師、母子のためのセラピストなど

●参加費 1万円(事前振り込み)

●プログラム

第一印象をよくするために/言葉遣い/電話応対/席次のルール/コミュニケーションの取り方/職場内でのマナー/忠告の受け方/忠告の仕方/クレーム対応/なぜ助産師にマナーが必要か、ほか

●講師 古賀敦子(イメージアップコーディネーター)

●申し込み・問い合わせ先

e-mail: umi@umi.lar.jp へ氏名、職業、所属、連絡先、お住まいの地域を明記のうえ、メールにてお申し込みください。お申し込みの方へ参加費、振り込み先、交通案内、持ち物など詳細をご案内いたします。

●主催 いのち・こころ・からだ・くらしの学び合いの場~Umiのいえ
代表: 斉藤麻紀子

TEL: 045-324-8737

第38回日本保健医療社会学会大会

●日時 5月19日(土)、20日(日)

●会場 神戸市看護大学

●テーマ チーム医療の時代の従事者教育を問う

●プログラム

・教育講演「チーム医療再考: チーム・アプローチでデザインするこれからの医療ケア」: 細田満和子(ハーバード公衆衛生大学院リサーチフ

ェロー)

・シンポジウム「チーム医療教育をどうするか?—チームワークと専門職性との間で」: 吉村学(医学・揖斐郡北西部地域医療センター)、備酒伸彦(理学療法学・神戸学院大学)、鈴木志津枝(看護学・神戸市看護大学)、三井さよ(社会学・法政大学)

●参加費 事前登録は4月13日まで()内当日受付 学会員 5000円(6000円)/非学会員 6000円(7000円)

●申し込み・問い合わせ先

事務局: 担当(益)

e-mail: jhms38@tr.kobe-ccn.ac.jp

詳しくは、学会ホームページをご参照いただきますようお願いいたします。

日本看護倫理学会 第5回年次大会

●日時 5月26日(土)・27日(日)

●会場 東京女子医科大学(東京都新宿区河田町8-1)

●テーマ

倫理的意思決定のためのアプローチ: 事例検討、コンサルテーション、ナラティブ

●プログラム

・会長講演「精神看護における倫理的意思決定と事例検討」田中美恵子(東京女子医科大学看護学部教授)

・基調講演「Ethical decision-making: Principles and relationships」Douglas P. Olsen (Nurse Ethicist, National Center for Ethics in Health Care & Associate Professor, Uniformed Services University for Health Sciences)

・教育講演「倫理的意思決定のためのナラティブアプローチ」足立智孝(道徳科学研究センター生命環境研究室主任研究員)

・シンポジウム「さまざまな臨床における倫理的意思決定のための支援」山内典子(東京女子医科大学病院看護部エキスパートナース), 江波戸和子(山田病院精神看護専門看護師), 浅香えみ子(独協医科大学越谷病院看護部副部長)

●参加費

会員 8000 円, 非会員 9000 円, 大学院生を除く学生 2000 円

●問い合わせ先

事務局

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学内

FAX: 03-3341-8832(日本看護学会第 5 回年次大会宛)

e-mail: jnea5@nurs.twmu.ac.jp

http://www.rinri5.ews045.com

カンガルーケアの意義と 安全性を共に考えませんか カンガルーケア勉強会

●主催 日本母乳哺育学会(実行委員長: 黒川賀重)

日本母乳哺育学会の学術集会時に開かれる勉強会は会員のレベル向上を目的として開催されていますが、今回はマスコミにも取り上げられ、医療者だけではなく一般の方々の間でも関心が深く持たれているカンガルーケア(STS)をテーマといたしました。ディスカッションの時間を十分にとり、カンガルーケアの安全性

や意義などについて参加者それぞれの貴重な意見をうかがうことができるよう企画しております。

●日時 6月2日(土)

14:00~17:00

●会場 昭和大学上條講堂(東京都品川区旗の台 1-5-8)

●参加費

一般 1000 円, 医療者 3000 円

●シンポジウム

・「なぜこの勉強会が必要になったか」(仮)軸丸靖子(フリーライター)

・「母子関係の形成から見るカンガルーケアの意義」(仮)橋本武夫先生(聖マリア学院大学 小児科医)

・「カンガルーケアの意義とそのリスク」大木茂(聖隷浜松病院小児科医)

・「母乳育児に関わる者から見たカンガルーケア」上原茂樹(東北公済病院産婦人科医)

●申し込み・問い合わせ先

FAX: 053-586-6612(できるだけ日本母乳哺育学会誌に同封の申し込み用紙に記載してください。同封の用紙を使用しない方は氏名, 所属, 職種, 連絡先住所, 電話番号, FAX 番号, メールアドレスを必ずご記入ください)

e-mail: bonyukc@yahoo.co.jp

http://square.umin.ac.jp/bonyuu/

日本母子ケア研究会 第 13 回学術・実践報告会

●日時 6月24日(日)

10:00~16:00

●会場 はまぎんホール ヴィアマ

ーレ(神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-1-1)

●テーマ 母乳育児がつかなくなるとき一育てにくさの要因を探る

●対象 看護師, 保健師, 助産師など医療従事者

●参加費 事前参加登録(6月15日まで)1万円

当日申し込み 1万2000円

※いずれも年会費込み

●プログラム

・教育講演「いま, 子どもたちの呼吸が危ない—哺乳障害, いびき, 睡眠時無呼吸症, 舌癒着症治療を通して」山西敏朗(耳鼻咽喉科 山西クリニック)

・シンポジウム「当院における苦痛のない吸啜に向けての援助(“舌下膜”切除に焦点をあてて)」和田美智代(くまがい産婦人科), 「あなたならどうする? 母乳育児が辛いと感じた母親へのケア」柴田美知子(母子ケアルーム・しばちゃん), 「育てづらさと乳房のトラブルを体験して—母親であり助産師として」梅原由里(ワイズレディスクリニック), 「すこやか助産院の実践から—バルスオキシメーターを使って」松本富美子(すこやか助産院)

●申し込み方法

ホームページから「申し込み用紙」をダウンロードして, ファクスまたは郵送で下記までお送りください。

●問い合わせ先

事務局(担当: 増田)

FAX: 03-5919-3619

〒186-0002 東京都国立志市東 1-7-6-602

e-mail: info@boshicare.com

<http://www.boshicare.com>

NPO 法人日本ラクテーション・ コンサルタント協会 第 32 回母乳育児学習会 in 神戸

- 日時 7月7日(土)・8日(日)
- 会場 神戸国際展示場 2号館コンベンションホール(神戸市中央区港島中町 6-11-1)
- 対象 母乳育児を援助する専門家(助産師、看護師、保健師、医師、歯科医師、パースエデュケーター、栄養士など)をはじめ、学生、母乳育児支援団体認定リーダーなど母乳育児支援に興味のある方。

●プログラム

- ・「画像でわかる赤ちゃんの適切な吸着—最新の知見から」「赤ちゃんが能力を発揮できるように手伝える—一吸いつくときの手の大切な働き」 Catherine Watson Genna(米国、国際認定ラクテーション・コンサルタント)
- ・シンポジウム「世代を越えた母乳育児支援」

●申し込み方法

4月2日(月)から5月31日(木)まで JALC のホームページ
<http://www.jalc-net.jp/>から。

●問い合わせ先

事務局
e-mail: jalc32@secretariat.ne.jp
TEL: 075-231-6357
FAX: 075-231-6354

日本看護歴史学会 第 26 回学術集会

- 日程 8月26日(日)・27日(月)
- 会場 日本赤十字看護大学
- テーマ 災害の教訓から改革へ—私たちは何を伝えるべきか

●演題募集

- ・募集締め切り: 4月27日(金)
- ・詳細: ホームページ参照

●問い合わせ先

事務局
〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-3 日本赤十字看護大学内
e-mail: jsnh26-office@umin.ac.jp
<http://rkango26.umin.jp>

日本遺伝看護学会 第 11 回学術大会

- 日時 9月28日(金)~29日(土)
- 会場 清泉寮(〒407-0311 山梨県北杜市高根町清里 3545)

●対象

日本遺伝看護学会会員、保健医療福祉関係者、特別な支援を必要とする人々を支えるグループ、市民

●プログラム

前日: 9月27日(木) 18:00~19:30 交流会

[1日目] 9月28日(金) 9:45~20:30 夕食を兼ねた懇親会を含みます。

午前: 一般演題

午後: 特別講演

・いのちの尊厳~ひとりひとりの人格と向き合う/松村識(甲府キリス

ト福音教会)

・ワークショップ

[2日目] 9月29日(土) 8:30~12:00

一般口演/教育講演

「性分化疾患をめぐる医療・社会の動向」 大山健司(山梨大学大学院医学工学総合研究部名誉教授)

●参加費

日本遺伝看護学会会員 5000 円、非会員 7000 円、学生(含む大学院生) 3000 円。事前申し込みはありません。

●演題募集

・演題受付期間: 5月1日~6月15日。ホームページから演題申し込み用紙を印刷し、e-mail に添付してください。

・抄録締め切り: 7月6日(金)。抄録規定に従い A4 用紙 1 枚以内に MSWORD もしくはテキストファイルで作成し、e-mail に添付して学会事務局に送信してください。

・注意事項: 筆頭者は日本遺伝看護学会員であること。非会員の方は 5月30日までに入会手続きを済ませてください。

●宿泊案内

パンフレット、申し込み用紙を参照ください。清泉寮は宿泊施設をもつ会場となります。食事も夕食付です。清泉寮の予約は学会事務局で受け付けますので、8月20日(月)までに FAX でお送りください。